



日本国特許庁

JAPAN PATENT OFFICE

09/918,649
Attorney's Office No. 4035-0144P
YABE Hiroshige
August 1, 2001
Birch Stewart, Kolasch & Birch, LLP
(703) 205-8000

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 8月25日

出願番号

Application Number:

特願2000-255416

出願人

Applicant(s):

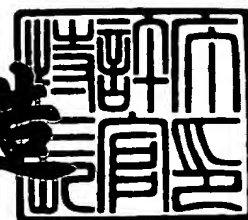
矢部 廣重



2001年 6月25日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3058455

【書類名】 特許願

【整理番号】 JWP-09106

【提出日】 平成12年 8月25日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 7/00
H04L 9/32
H04L 12/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都八王子市山田町 1 6 9 2 - 3 0

【氏名】 矢部 廣重

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都八王子市山田町 1 6 9 2 - 3 0

【氏名又は名称】 矢部 廣重

【代理人】

【識別番号】 100090893

【弁理士】

【氏名又は名称】 渡邊 敏

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014292

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 個別配信システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

利用者各人の端末が、無線或いは有線の通信手段を介して、ホストコンピューターに接続されているシステムにおいて、

少なくともメールアドレスと登録名前を含む利用者の個人情報を、端末から受信して、その個人情報を受信時刻と共に記録して利用者を識別する利用者識別手段と、

その利用者の登録名前を、記録装置に蓄えられた仮名前入り文章または仮名前入り図形の仮名前と置換する名前置換手段と、

利用者識別手段による受信時刻に基づいた所定の単数または複数の時刻に、名前置換手段によって登録名前が導入された文章または図形を、利用者のメールアドレスへ個別に配信する配信手段と

を備えることを特徴とする個別配信システム。

【請求項 2】

記録装置に蓄えられた仮名前入り文章が、1話数百文字約10話完結の連続小説であり、

その連続小説を第1話から順に、各利用者へ毎日1回配信する
請求項1に記載の個別配信システム。

【請求項 3】

連続小説に、次回の展開を選ばせる選択肢を付けて配信し、その選択に応じて次回の配信内容を調整する

請求項2に記載の個別配信システム。

【請求項 4】

記録装置に蓄えられた仮名前入り文章が、仮名前を構成する各文字を含んだ文の集合から成る1話完結の韻文であり、

その韻文を、各利用者へ約1ヶ月に1回配信する
請求項1に記載の個別配信システム。

【請求項 5】

記録装置に蓄えられた仮名前入り図形が、その仮名前を構成要素として描かれた図形であり、

その図形を、各利用者へ約 1 ヶ月に 1 回配信する
請求項 1 に記載の個別配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット等の通信手段を介して、利用者各人の登録名前の入った文章や図形を定期的に個別に配信するシステムに関する。

【0002】

【従来技術】

インターネット等の通信手段を介して、連続小説などの文章や、所望の図形を定期的に配信するシステムは、従来から存在する。

しかし、その配信は、利用者全員に対して、同一のものを一方的に送る画一的なシステムであった。

特に、連続小説が既に開始されてしまっている場合は、途中の回次から受信せざるを得ない。また、連続小説の内容に対して、利用者は何の影響も及ぼすことはできず閉鎖的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上記従来技術の有する問題点に鑑みて創出されたものであり、その目的は、利用者個々人に対して、不便でないと共に、興味関心を増進させる個別の内容を配信するシステムを提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の個別配信システムでは、インターネット等の通信手段を利用して、次のように課題の解決を図る。

すなわち、利用者各人の端末が、無線或いは有線の通信手段を介して、ホスト

コンピューターに接続されているシステムにおいて、少なくともメールアドレスと登録名前を含む利用者の個人情報を、端末から受信して、その個人情報を受信時刻と共に記録して利用者を識別する利用者識別手段と、その利用者の登録名前を、記録装置に蓄えられた仮名前入り文章または仮名前入り図形の仮名前と置換する名前置換手段と、利用者識別手段による受信時刻に基づいた所定の単数または複数の時刻に、名前置換手段によって登録名前が導入された文章または図形を、利用者のメールアドレスへ個別に配信する配信手段とを設ける。

【0005】

ここで、記録装置に蓄えられた仮名前入り文章を、1話数百文字約10話完結の連続小説として、その連続小説を第1話から順に、各利用者へ毎日1回配信して、小説の受け入れ易さに寄与させてもよい。

更に、連続小説に、次回の展開を選ばせる選択肢を付けて配信し、その選択に応じて次回の配信内容を調整するようにして、利用者との疎通に寄与する非閉鎖的なシステムを提供してもよい。

【0006】

また、記録装置に蓄えられた仮名前入り文章を、仮名前を構成する各文字を含んだ文の集合から成る1話完結の韻文として、その韻文を、各利用者へ約1ヶ月に1回配信して、韻文の内容の影響度増強に寄与させてもよい。

【0007】

記録装置に蓄えられた仮名前入り図形を、その仮名前を構成要素として描かれた図形として、その図形を、各利用者へ約1ヶ月に1回配信して、図形に用いられた文句の内容の影響度増強に寄与させてもよい。

【0008】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態を図面に示した実施例に基づいて説明する。

図1は、本発明のシステムの要部を示すブロック図であり、図2及び3は、連続小説を配信する場合の実施例を示すそれぞれブロック図及び配信文章例である。

利用者が使用する携帯電話等の各端末には、文字や図形を入出力する手段と通

信手段とが備わり、インターネットなどの無線或いは有線の通信手段を介して、ホストコンピュータに接続されている。

【0009】

利用者は、端末から、配信を受信するためのメールアドレスと配信文中に導入したい登録名前、必要に応じて、性別や年齢等の個人情報を、ホストコンピュータへ送信して利用登録する。

ホストコンピュータは、利用者識別手段により、端末から受信した各個人情報を、その受信時刻と共に記録して、各利用者を識別する。そして、受信した登録内容を各利用者へ返信して、登録の確認を行なう。

【0010】

引き続き、ホストコンピュータは、名前置換手段により、利用者の登録名前を、記録装置に蓄えられた仮名前入り文章の仮名前と置換する。

記録装置に蓄えられた仮名前入り文章としては、図3に例示したような1話数百文字約10話完結の連続小説が挙げられる。この例では、仮名前が「渡辺敏」という登録名前(10)に置換されている。

なお、配信される小説は、性別や年齢等の個人情報を勘案した内容のものが選択される。また、利用登録時に、所望の内容のものを利用者を選択させてもよい。小説の代わりに、段階的に学習させる内容の教材などを配信対象としてもよい。

【0011】

このようにして生成された登録名前入りの連続小説は、その第1話から順に、各利用者へ毎日1回正午等の決められた時刻に配信される。

その配信は、利用者識別手段による受信時刻に基づいた時刻に、利用者各人に個別に行われる。すなわち、図2に例示したように、AさんとBさん別個に、それぞれ登録日の翌日から、第1話から順に配信される。

このように、利用者各人に、それぞれ、第1話から順に1話ずつ配信するには、1回配信する度に、利用者各人に割り当てられた識別子を1ずつ加算して、次回配信する回次を記録しておくことなどで制御される。

なお、利用登録時に、図2のCさんのように、第1話が配信される利用開始日

をずらして指定したり、1日おきに受信するなど受信日を指定してもよい。

【0012】

配信は、利用者から継続を中止する旨の送信を受けない限り、自動的に継続される。

連続小説の場合は、次回の展開を選ばせる選択肢を付けて配信してもよい。そして、利用者の回答を受信してから、次回の配信内容を、記録装置に蓄えられた仮名前入り文章の選択肢から選んで調整するようにすることで、利用者を積極的に関与させ、非閉鎖的なシステムとしてもよい。

【0013】

図4は、韻文を配信する場合の実施例を示す配信文例である。

記録装置に蓄えられた仮名前入り文章を、仮名前を構成する各文字を含んだ文の集合から成る1話完結の韻文として、これを定期的に配信してもよい。

図示の例では、仮名前が「相川康弘」という登録名前(10)に置換されている。登録名前は、それを構成する「相」、「川」、「康」、「弘」という文字(11)に分解され、その各文字を含む熟語「相人」、「川流」、「康楽」、「弘法」が選択され、その各熟語を含む文がそれぞれ選択される。そして、この4つの文の集合から成る1話完結の韻文が、各利用者へ約1ヶ月に1回などの割合で配信される。

【0014】

図5は、図形を配信する場合の実施例を示す配信図例である。

記録装置に蓄えられた仮名前入り図形を、その仮名前を構成要素として描かれた図形として、これを定期的に配信してもよい。

図示の例では、仮名前が「渡辺敏」という登録名前(10)に置換されている。図形としての山が、登録名前を含む「日本の重宝渡辺敏」という文字列(12)の連続体によって縁取られて描かれている。

【0015】

【発明の効果】

本発明の個別配信システムは、以上の構成を備えるので次の効果を奏する。

請求項1に記載のシステムによると、各利用者の登録名前が導入された文章ま

たは図形が個別に配信されるので、利用者の興味関心を増進させると共に、登録受信時刻に基づいた所定の時刻に定期的に配信されるので、利用者個々人にとって不便なく配信を行なうことができる。

【 0 0 1 6 】

請求項 2 に記載のシステムによると、連続小説が、各利用者に第 1 話から順に配信されるため、回次の欠落がないので、小説の受け容れ易さが向上する。

請求項 3 に記載のシステムによると、連続小説の次回の展開を選ばせる選択肢があるので、利用者が配信内容に積極的に関与し、利用者との疎通が図れる。

【 0 0 1 7 】

請求項 4 に記載のシステムによると、登録名前を構成する各文字を含んだ韻文が配信されるため、その韻文の内容の影響度を増強することができる。

【 0 0 1 8 】

請求項 5 に記載のシステムによると、登録名前を構成要素として描かれた図形が配信されるため、その図形に用いられた文句の内容の影響度を増強することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明のシステムの要部を示すブロック図

【図 2】

連続小説を配信する形態の実施例を示すそれぞれブロック図

【図 3】

連続小説の配信文章例

【図 4】

韻文の配信文例

【図 5】

図形の配信図例

【符号の説明】

1 0 登録名前

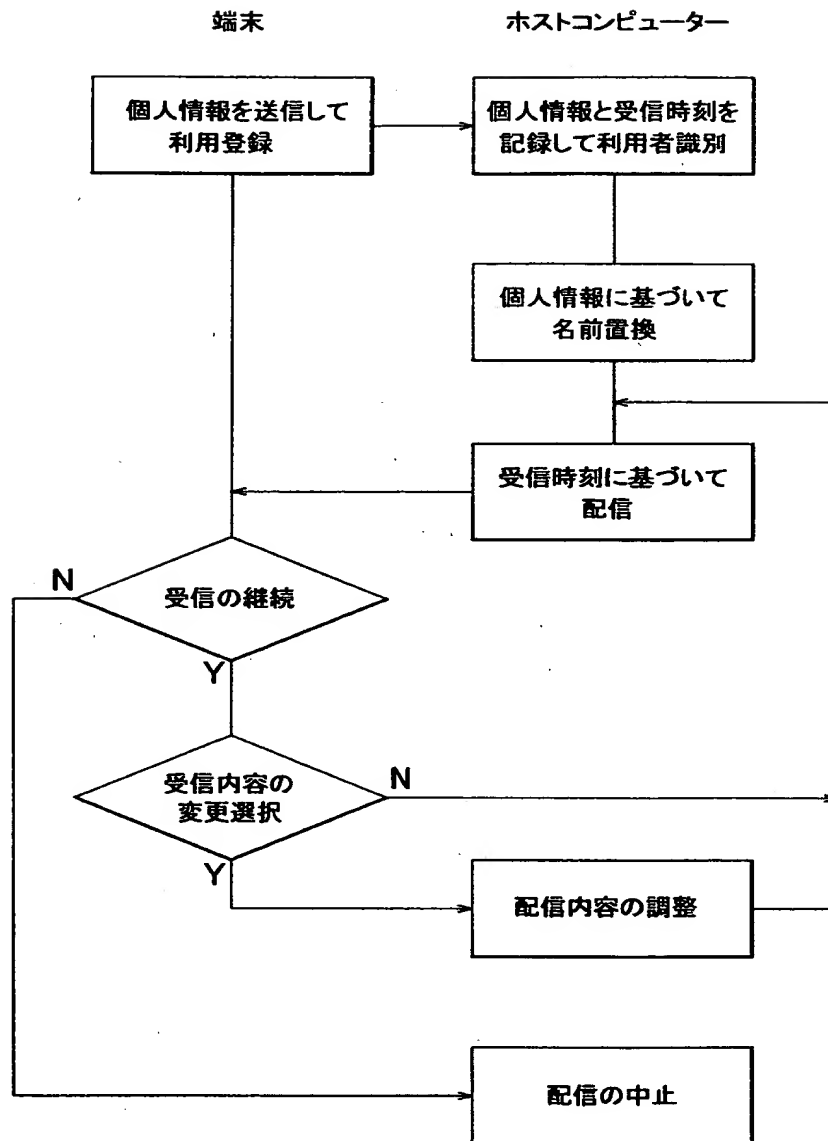
1 1 登録名前を構成する文字

1 2 登録名前を含む文字列

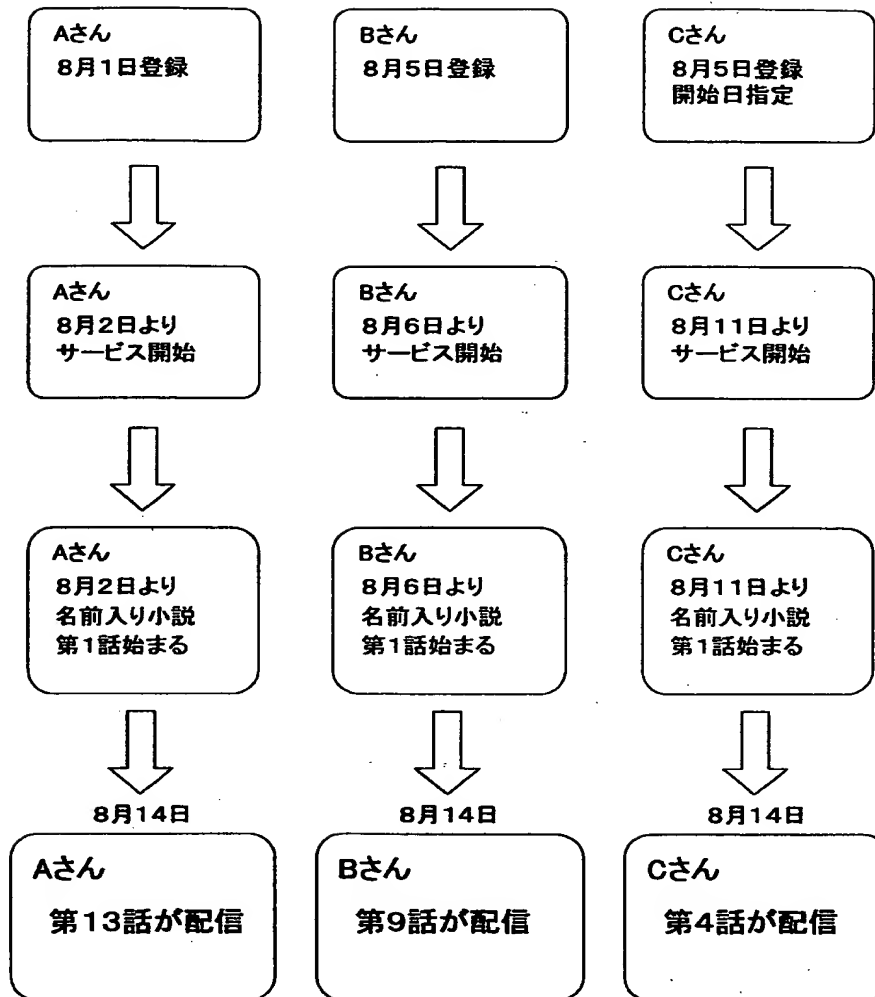
【書類名】

図面

【図 1】



【図2】



【図3】

1回目

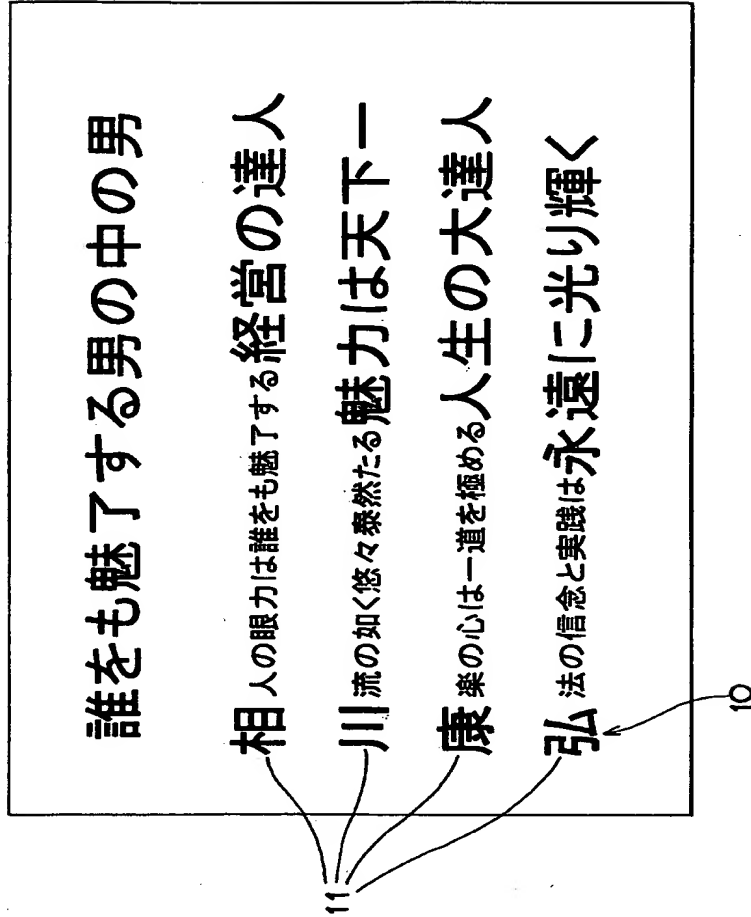
不思議な男がいる。
その男がいるだけで場の雰囲気はよくなる。誰もがほっとする。決してハンサムではない。どこにでもいる容姿である。その男の名前は渡辺 敏という。32歳だ。独身である。女子社員の間では一番狙われている。しかし敏には当分その気はなさそうだ。仕事が面白くて仕方がないという表情である。仕事の内容は地味な経理マンだ。敏は誰にも言ったことはないが日本のビジネスマンの中では自分が一番仕事を楽しんでいると自負している。それが身体全体にしみ出ているのだ。誰をも魅了する雰囲気を醸し出している。
[続]

10

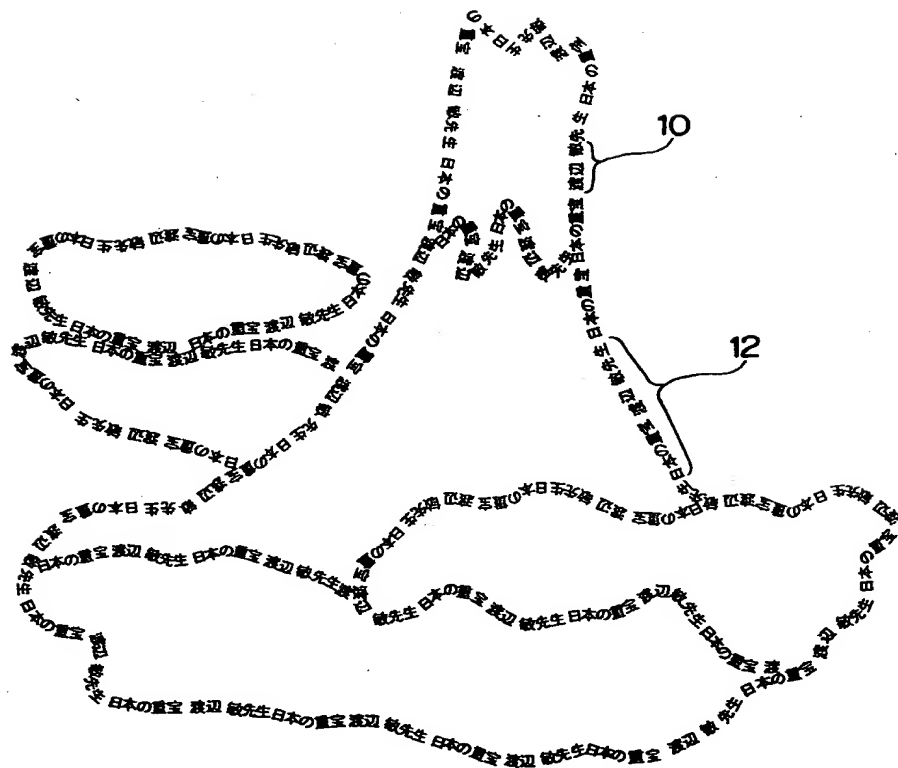
2回目

渡辺 敏はなぜ仕事が面白いのだろうか。敏によれば、数年前までは仕事が嫌で嫌で仕方がなかったという。何回も退職を.....

【図4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者個々人に対して、不便でないと共に興味関心を増進させる個別の内容を配信するシステムを提供すること。

【解決手段】 利用者各人の端末が、無線或いは有線の通信手段を介して、ホストコンピュータに接続されているシステムにおいて、少なくともメールアドレスと登録名前を含む利用者の個人情報を、端末から受信して、その個人情報を受信時刻と共に記録して利用者を識別する利用者識別手段と、その利用者の登録名前を、記録装置に蓄えられた仮名前入り文章または仮名前入り図形の仮名前と置換する名前置換手段と、利用者識別手段による受信時刻に基づいた所定の単数または複数の時刻に、名前置換手段によって登録名前が導入された文章または図形を、利用者のメールアドレスへ個別に配信する配信手段とを設ける。1話数百文字約10話完結の連続小説を第1話から順に、各利用者へ毎日1回配信してもよい。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歷 情 報

識別番号 [399094165]

1. 変更年月日	1999年 9月10日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都八王子市山田町1692-30
氏 名	矢部 廣重